

れます。そのような中であって日常生活にも十分に注意する必要があると考えます。また仏事等においても従来通りにできないところもあるうかと考えます。

浄観寺においても充分に注意をしておりますが、今回は自然に目を向けたいと考え、境内の春の咲き誇る桜と、秋の紅葉した銀杏を〓紹介いたします。

○当寺の年中行事

正月

元日 元朝法要

一月二日・三日 年始回り

涅槃会 (ねはんさま)

二月一五日

春彼岸

三月一八日 彼岸の入り

二十一日 彼岸中日

二十四日 彼岸明け

お盆

八月一日 盆月の入り

十三日 迎え盆

十五日 盂蘭盆会

十七日 浄観寺施餓鬼会

秋彼岸

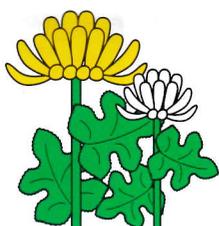
九月二十日 彼岸入り

二十三日 彼岸中日

二十六日 彼岸明け

おおみそか・除夜の鐘

十二月三十一日



東福寺だより

●前任職一周忌法要

十一月六日午後二時より、前任職松崎恵水和尚の一周忌法要を営みました。大導師は浄観寺御住職渡会瑞顕僧正にお勤めいただき、真流寺院ご住職方にご助法していただきました。法類寺院、檀信徒総代様や有縁の方々にご参列、焼香していただきました。法要の最後、謝辞のなかで任職は、あらためて先代の遺産の大きさを実感し、それを引き継ぎ寺門興隆に努めていきたいと述べました。本堂での法要の後、参列者一同、奥の院墓地に墓参しました。

●奥の院大仏開眼・記念法要厳修

宗祖弘法大師さまの御生誕一千二百年を記念して進めて参りました当山の奥の院等整備事業は、一応の完成を迎え、十一月二十七日(日)奥の院大仏開眼供養並びに弘法大師御生誕一千二百五十年記念慶讃法要が厳修されました。当日は、雲ひとつない晴天に恵まれ、午前九時三十分、本堂前から